

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース		学年	1年生				
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストをを経験後、本校の美容師科美容師国家試験対策へ携わる。美容師科での勤務後、今年度HM科担当となる。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
○クラス目標、個人目標の達成 ○業界から求められる人材育成(主体性を養う)○就職に向けての準備をする									
<b>【学習内容】</b>									
○クラス目標、個人目標の振り返り(必要があれば再設定) ○業界から求められる人材育成するための業界講話○就職向け履歴書書き									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/19)	【到達目標】 1Sを振り返り、自己分析(履歴書用)				⑨ (11/21)	【到達目標】 業界コラボ(業界講話)			
② (9/26)	【到達目標】 学生サービス授業(マネー教育)				⑩ (11/28)	【到達目標】 苦手克服プログラム、就職アンケート			
③ (10/3)	【到達目標】 個人目標確認、履歴書作成				⑪ (12/5)	【到達目標】 就職講座・目標確認			
④ (10/10)	【到達目標】 就職講座(小川先生)				⑫ (12/12)	【到達目標】 冬休みの過ごし方、目標確認、達成度の確認			
⑤ (10/17)	【到達目標】 履歴書作成・就職講座				⑬ (12/19)	【到達目標】 目標確認、就職アンケート			
⑥ (10/24)	【到達目標】 履歴書作成・就職講座				⑭ (12/16)	【到達目標】 就職講座・定期試験について			
⑦ (10/31)	【到達目標】 就職講座・就職アンケート				⑮ (12/23)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (11/7)	【到達目標】 現場について(人間力の学び)				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価</li> <li>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)</li> <li>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法</li> <li>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
小テスト 1→12→3点、13、14→2点									

講義シラバス										
科目名	ピックアップヘアメイク I (特殊メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生			
講師名	鶴岡 瑛子	講師 プロフィール	東京でフリーランスの特殊造型・特殊メイクスタッフとしてMVやTVCM、映画製作などに携わる。現在は札幌に活動の拠点を移し、札幌ベルエポック美容専門学校にて非常勤で特殊メイク実習を行っている。							
<b>【授業を通じての到達目標】</b>										
普段のメイク材料に加え、特殊メイク材料に触れ、立体的なメイクの知識や基礎的な技術を身につける。										
<b>【学習内容】</b>										
普段使用しているメイク道具を用いて、傷メイクやゾンビメイクなどの基本的な特殊メイクを行う。また、特殊メイクで用いる材料や道具の使い方も学ぶ。										
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>					
メイク道具一式、筆記用具、特殊メイク用品など。										
日時	授業計画				日時	授業計画				
	<b>【到達目標】</b>					<b>【到達目標】</b>				
① 9/17	オリエンテーション 本実習の内容を理解する。 (小テスト1点)				⑨ 11/19	白塗り 白塗りの基本を身につける。 (小テスト3点)				
② 9/24	ペイントによる傷メイク(アザや切り傷など) 普段使用しているメイク道具を用いて、肌に傷を描く手法を理解する。 (小テスト3点)				⑩ 11/26	スカルメイク 白塗りに発展させたスカルメイクができるようになる。 (小テスト3点)				
③ 10/1	ペイントによる傷メイク(傷口の縫い目など) 前週のアザや切り傷のメイクに加え、さらに複雑な凹凸を意識した陰影のつけ方を学ぶ。 (小テスト3点)				⑪ 12/3	動物メイク 人間との構造の違いを理解し、凹凸などを意識したメイクができるようになる。 (小テスト3点)				
④ 10/8	不健康メイク 色の効果や人体の構造を理解し、血色の悪さや目の下のクマなどを作るメイクを学ぶ。 (小テスト3点)				⑫ 12/10	応用傷メイク1 テーマを設定し、それに応じたメイクができるようになる。 (小テスト3点)				
⑤ 10/15	高齢メイク シワやシミなどの加齢に伴う身体の変化を学び、それをメイクで表現できるようにする。 (小テスト3点)				⑬ 12/17	応用傷メイク2 テーマを設定して、それに応じたメイクができるようになる。 (小テスト3点)				
⑥ 10/22	ゾンビメイク デフォルメされた血管や陰影などの表現を学び、ゾンビのメイクができるようになる。 (小テスト3点)				⑭ 1/21	定期試験準備 (小テスト3点)				
⑦ 10/29	ゾンビメイク2 前週に加え、発展させたゾンビメイクができるようになる。 (小テスト3点)				⑮ 1/28	定期試験 自分でコンセプトを決め、デザインし、メイクを行うまでの流れを実践する。				
⑧ 11/5	<b>【到達目標】</b> マスキュリンメイク 男性的な骨格の際立たせ方や、ヒゲなどのペイントメイクを学ぶ。 (小テスト3点)				<b>【成績評価の方法と基準】</b>					
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>										
普段学ぶビューティメイクとはまた違う視点を持って興味を広げ、楽しさを忘れず楽しむ。										

## 講義シラバス

科目名	クリエイティブヘアメイクⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	石川紗織	講師 プロフィール	三景スタジオ退社後、フリーランスのヘアメイクに転向。 現在は、冠婚葬祭、広告など様々なジャンルのヘアメイクを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
感性を養い、自分の個性、得意分野を理解した作品が作れるようになる。									
【学習内容】									
テーマからヘアメイクを想像し、形にする技術を身につけていく									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具一式・筆記用具・色鉛筆					様々なジャンルの雑誌を読む 定期的な宿題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/20)	雑誌の考察をし、理解する				⑨ (11/22)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
② (9/27)	雑誌の考察をし、その雑誌をヘアメイクで表現することが出来る				⑩ (11/29)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
③ (10/4)	逆毛を立てることが出来る 色々なアイラインの引き方が出来る				⑪ (12/6)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
④ (10/11)	『和』がテーマの作品を作る(トレーニング)				⑫ (12/13)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
⑤ (10/18)	(中間チェック①) 『和』がテーマの作品を作る				⑬ (12/20)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
⑥ (10/25)	色々な編み方が出来る 型を使ってペイントが出来るようになる				⑭ (1/17)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
⑦ (11/1)	(課題) 色々な編み方で、ヘア作品を作る(ウィッグ) 『モトーン』がテーマの作品を考える(コンセプトシート)				⑮ (1/24)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る			
⑧ (11/8)	【到達目標】 『モトーン』がテーマの作品を作る				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス										
科目名	撮影クリエイト I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30	時間
学科	ヘアメイク科	コース		学年	1年生					
講師名	宇野 智哉/鹿内 魅人	講師 プロフィール								
【授業を通じての到達目標】										
動画・静止画の広告の成り立ちを学び、「誰に」「何を」「どのように」「なんのために」に基づいた思考を身につける。 自身の発信力にも当てはめて考え、自分の売り込みをどのように行うかを考える力を身につける。										
【学習内容】										
座学で撮影の勉強を行い、実践を通して良い作品を発信する。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
筆記用具・ノート・スマホ・タブレット・カメラ(持っている人)										
日時	授業計画				日時	授業計画				
①	【到達目標】 効果的なSNS運用の仕方				⑨	【到達目標】 【動画①】動画の基礎 フレームレート・作例鑑賞				
	②	【到達目標】 カメラの基礎 SS ISO F 設定を考えた上で写真を撮影する→発表				⑩	【動画②】構成考える素材撮る			
③		【到達目標】 【写真①】構図について学ぶ 実際に撮影					11	【到達目標】 【動画③】編集について学ぶ→実践		
	④	【到達目標】 【写真②】光について学ぶ 実際に撮影				⑫		【到達目標】 【動画④】課題 動画広告作成 チームに分かれ 1.構成を考える		
⑤		【到達目標】 【写真③】総合実践→発表					⑬	【到達目標】 【動画⑤】最終課題 動画広告作成 チームに分かれ 2.素材を撮る		
	⑥	【到達目標】 撮影・運用をする観点からSNSアカウントを見て感想を提出				⑭		【到達目標】 【動画⑥】最終課題 動画広告作成 チームに分かれ 3.編集する		
⑦		【到達目標】 【写真④】レタッチについて学ぶ→実践					⑮	【定期試験】60 最終課題 動画広告作成 チームプレゼン実施 動画広告を披露・プレゼンし、自己評価と他個評価を行う		
	⑧	【到達目標】 【写真⑤】アングル・画角・圧縮効果について学ぶ				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】										
チームに分かれ、お互いを撮影することが多いのでメイクをして授業に臨んで下さい。										

## 講義シラバス

科目名	ベーシックメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	松丸亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
ヘアメイクアーティストとして時代の変化や流行に敏感になることでメイクの知識・技術・提案力を身に付け自分自身のセンスを磨く。									
<b>【学習内容】</b>									
様々なメイクの応用技術を学ぶ。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
メイク道具一式・筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 9/20	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使って可愛いメイクが出来るようになる				⑨ 11/22	【到達目標】小テスト3点 イメージコンサルタント西村先生によるパーソナルカラーの授業			
② 9/27	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使ってクールなメイクが出来るようになる				⑩ 11/27	【到達目標】小テスト3点 2年生のヘアメイクサロンモデル(11/29から移動)			
③ 10/4	【到達目標】小テスト2点 カットクリースのやり方、つけまつ毛をつけ映えるメイク方法を知る				⑪ 12/6	【到達目標】小テスト3点 振袖に合ったヘアメイクが30分で出来るようになる			
④ 10/11	【到達目標】小テスト3点 自まつ毛に合わせたカットクリース				⑫ 12/13	【到達目標】小テスト3点 振袖に合ったヘアメイクが30分で出来るようになる			
⑤ 10/18	【到達目標】小テスト2点 コンテストメイク				⑬ 12/20	【到達目標】小テスト4点 定期試験対策授業			
⑥ 10/25	【到達目標】小テスト3点 イメージコンサルタント西村先生によるパーソナルカラーの授業				⑭ 1/17	【到達目標】小テスト4点 定期試験対策授業			
⑦ 11/1	【到達目標】小テスト3点 トレンドカラー&コスメを知り、メイクを相モデルで行う				⑮ 1/24	【定期試験】60 テーマに沿ったメイクを時間内に仕上げる			
⑧ 11/8	【到達目標】小テスト3点 トレンドカラー&コスメを知りメイクを相モデルで行う				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失) F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
忘れ物は自己管理不十分とみなし、小テストよりマイナスとする。また、今後社会で必要とされるコミュニケーション力を身に付ける為、相モデルへの声掛けを徹底する									

## 講義シラバス

科目名	ベーシックヘアⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク美容専門学校卒。 美容師免許取得。ヘアセット歴16年。 フリーランスの講師・ヘアメイクとして活動中。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
カールを中心とした基礎。逆毛の応用。									
<b>【学習内容】</b>									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がり向上心へと変わる									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダツカール ピン類・ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/17)	【到達目標】面のスタイルのバリエーションを知る(小テスト3)  すき毛を使った和装ヘア1				⑨ (11/19)	【到達目標】ウェーブでスタイルが出来るようになる(小テスト3)			
② (9/24)	【到達目標】面のスタイルのバリエーションを知る(小テスト3)  すき毛を使った和装ヘア2				⑩ (11/27)	【到達目標】お客様の気持ちが分かるようになる(小テスト3)  2年生【成人式ヘアメイクサロン】のモデル			
③ (10/1)	【到達目標】巻きやバランス、カールの出し方ができるようになる(小テスト3)  ダウンスタイル1				⑪ (12/3)	【到達目標】メンズヘアのバランスが分かるようになる(小テスト2)  メンズカット&セット			
④ (10/18)	【到達目標】巻きやバランス、カールの出し方が出来るようになる(小テスト3)  ダウンスタイル 2				⑫ (12/10)	【到達目標】カールの出し方、扱い方が分かるようになる(小テスト3)  試験課題 カールスタイル			
⑤ (10/15)	【到達目標】様々な技術を組み合わせることが出来るようになる(小テスト3)  ボンバから作るハーフアップ				⑬ (12/17)	【到達目標】カールの出し方・扱い方が分かるようになる。(小テスト3)  12と同じ			
⑥ (10/22)	【到達目標】様々な技術を組み合わせることが出来るようになる(小テスト3)				⑭ (1/21)	【到達目標】時間を意識した仕上がりが出せるようになる(小テスト3)  定期試験練習			
⑦ (10/29)	【到達目標】様々な技術を組み合わせることが出来るようになる(小テスト2)				⑮ (1/27)	【定期試験】60  定期試験			
⑧ (11/5)	【到達目標】ウェーブでスタイルが出来るようになる。(小テスト3)				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
必須道具・名札などの忘れ物は小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス

科目名	ベーシックファッションⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数 30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生	
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社DADDIKU fashion 代表。主にTV・CM・タレントなどのスタイリスト&ヘアメイク&ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラーでもある					

【授業を通じての到達目標】

1Sで習得した基本知識を応用し活用出来る力を身につける事が出来き、課題に取り組む過程で起きる問題を解決する問題解決能力を發揮し、課題に積極的に取り組み、プロ意識をもって何事もチャレンジ精神で挑む事が出来る。完成度の高いファッションとヘアメイクのトータルプロデュースが出来 現場で求められるプロフェッショナルな業界人を目指す

【学習内容】

ファッションの基礎知識(トレンド感性、アイテム名称、シルエットライン、ディティールなど)の基本を活用し、ヘア、ネイル、ファッションのトータルコーディネート提案を実践しグループワークで発信力をもって提案していく

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

GPワーク内での個人役割の準備

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/19) 1点	【到達目標】 オリエンテーション。今後の授業内容の確認と次週の準備 業界人として必要な技術を習得し今後どのように取り組んでいくのか明確な計画と目標を持つことが出来る。次週のGPワーク	⑨ (11/21) 1点	【到達目標】 前週のグループ毎にイメージを模擬実技し、撮影 事前準備を万全に、計画的に正確に進行できるようになる
② (9/26) 4点	【到達目標】 デニムを使用したトータルコーディネートの提案と撮影(バックスクリーン) 課題テーマに協調性と積極性を持って取り組む事が出来る	⑩ (11/28) 5点	【到達目標】 決定したトータルコーディネートの内容に合わせて、施術し撮影する 協調性と行動力、コミュニケーションを持って意欲的に取り組む事が出来る 計画表に基づき、協調性を持って意欲的に進行させる事が出来る
③ (10/3) 1点	【到達目標】 アーティストのメンズファッションの特徴を知り、イメージ似合うコーディネート提案が出来ようになる。GPワーク 協調性と行動力を持って積極的に取り組む事が出来る	⑪ (12/5) 1点	【到達目標】 定期試験に向けての準備(内容確認と計画書) トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、協調性を持って意欲的に進行させる事が出来る
④ (10/10) 5点	【到達目標】 前週のGPワーク(指定のアーティストの特徴を生かし、ファッションとヘアメイクのプレゼンテーションする。 協調性と共に積極的に取り組み、プレゼンテーション能力を發揮できるようになる	⑫ (12/12) 1点	【到達目標】 定期試験に向けての準備(構図とポージング) トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑤ (10/16) 1点	【到達目標】 指定のイベントのトータルスタイリングの提案をグループワークする 指定のアーティストの情報、分析する力を發揮し、ターゲットのイメージと提案したいスタイルがリンク出来る様に提案方法も工夫し説得力ある提案が出来ようになる。	⑬ (12/19) 1点	【到達目標】 定期試験に向けての準備 (制作物) トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑥ (10/24) 4点	【到達目標】 前週のGPワークの内容をグループ毎に撮影演習。 決定したトータルコーディネートのテーマに合わせて、施術し撮影する 協調性と行動力を持って積極的に取り組む事が出来る	⑭ (1/16) 10点	【到達目標】 定期試験に向けての準備 中間チェック リハーサル(携帯カメラ確認) トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑦ (10/31) 4点	【到達目標】 女性人気アーティストの模倣をトータルコーディネートを提案。GPワーク 特徴を分析し、よりリアルに模倣できるテクニックを身につけ、幅広いジャンルに対応できるようになる	⑮ (1/23) 【定期試験】60	トータルファッションコーディネート(ファッション、ヘアメイク、ネイル、音楽、演出、ウォーキング含む)提案、撮影。習得した知識、技術の1年間の集大成を發揮することが出来る
⑧ (11/8) 1点	【到達目標】前週のGPワークの実技発表 外部モデルを使ったトータルコーディネートの提案。GPワーク 決定したトータルコーディネートのテーマに合わせて、施術し撮影できる様、準備する 協調性と行動力、コミュニケーションを持って意欲的に取り組む事が出来る	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ※小テスト減点法(忘れ物△1点、授業中の取り組み態度△2点~5点)	

【履修に当たっての心構え・留意点】

自立した職業人として教養と実務能力を身につけ、情勢と状況に応じて自己実現のために学び、広い視野と他者理解をもって協議、提案していく

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

## 講義シラバス

科目名	ブライダルヘアメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	富士・箱石 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダル業界の知識やヘアメイク技術、成人式ヘアメイク技術の基礎を身につける。									
【学習内容】									
様々な専門的な技術を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18. 19)	【到達目標】小テスト3点 提示したドレスに合わせ、相モデルで模写メイクが出来るようになる (キュートorカジュアル)				⑨ (11/20. 21)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(ハーファアップ)			
② (9/25. 26)	【到達目標】小テスト3点 提示したドレスに合わせ、相モデルで模写メイクが出来るようになる (クールorゴージャス)				⑩ (11/27. 28)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(高めアップ)			
③ (10/2. 3)	【到達目標】小テスト3点 提示した振袖に合わせ、相モデルで模写メイクが出来るようになる				⑪ (12/4. 5)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルを意識し、ヘアチェンジスタイルがつかれるようになる (アップスタイル→ダウンスタイル)			
④ (10/9. 10)	【到達目標】小テスト3点 提示した振袖に合わせ、相モデルで模写メイクが出来るようになる				⑫ (12/11. 12)	【到達目標】小テスト4点 ブライダルを意識し、ヘアチェンジスタイルがつかれるようになる (タイトスタイル→ルーズスタイル)			
⑤ (10/16. 17)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(タイトヘア)				⑬ (12/18. 19)	【到達目標】小テスト3点 定期試験に向けてイメージを膨らませ、しっかりとコンセプトを練る事ができるようになる (会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物) 冬休み			
⑥ (10/23. 24)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(編みおろし)				⑭ (1/15. 16)	【定期試験 1組目】60点 会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物をプロデュースし、イメージ通りにヘアメイクを仕上げる事ができるようになる(相モデル1組目) ※モデルはドレス着用			
⑦ (10/30. 31)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(ポニーテール)				⑮ (1/22. 23)	【定期試験 2組目】60点 会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物をプロデュースし、イメージ通りにヘアメイクを仕上げる事ができるようになる(相モデル2組目) ※モデルはドレス着用			
⑧ (11/6. 7)	【到達目標】小テスト3点 ブライダル・成人式を意識したヘアセットができるようになる(下めアップスタイル)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

## 講義シラバス

科目名	アシスタントプログラムⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
現場実習に備えて、クライアントやお客様の要望に応える技術を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
アシスタントとして必要な知識や技術を身につける。ヘアセットのバリエーションを増やす。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】ヘアセット道具一式、ウィッグ				⑨ (11/20)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式、ターバン			
	アシスタントワークを想定したヘアセット練習 チームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする。(ヘア道具一式)      アイドル 一束リレー					ターバンをつかったヘアセットができるようになる(小物への対応力)			
② (9/25)	【到達目標】ヘアセット道具一式、ウィッグ				⑩ (11/27)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式、紐、ピン			
	エキストラヘアメイクを想定したヘアセット練習。時間を意識したトレーニング(ウィッグ)					紐、ピンをつかったヘアセットができるようになる(小物への対応力)			
③ (10/2)	【到達目標】ヘアセット道具一式、人頭				⑪ (12/4)	【到達目標】			
	エキストラヘアメイクを想定したヘアセット練習 時間を意識したトレーニング(人頭)					・お花をたくさん使ったヘアメイクができるようになる。(相モデルor3人組)      ・写 真を撮る。			
④ (10/9)	【到達目標】メイク道具				⑫ (12/11)	【到達目標】			
	・平成のギャル、やまんばメイクを再現してみる					・マフラーやニットなど冬の素材を使用したヘアメイク撮影(相モデルor3人組) ・写真を撮る			
⑤ (10/16)	【到達目標】ヘアセット道具一式、人頭				⑬ (12/18)	【到達目標】筆記用具、雑誌、ハサミ、ノリ			
	ブライダルの現場を想定したヘアセット練習(ヘアのバリエーションをふやす)					定期試験準備 セプトシート作成      コラージュ、コン			
⑥ (10/23)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式、帽子				⑭ (1/15)	【定期試験】1人目 60点			
	イベントブースを想定したヘアセット練習(簡単に早く崩れない練習)					定期試験 1人目 ヘアメイク、衣装も込みで完成させ写真を撮る      コラージュしたヘ			
⑦ (10/30)	【到達目標】ヘア道具一式、帽子				⑮ (1/22)	【定期試験】2人目 60点			
	セットができるようになる。(小物への対応力)      帽子を使ったヘア					定期試験 2人目 ヘアメイク、衣装も込みで完成させ写真を撮る      コラージュした			
⑧ (11/6)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式、帽子				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
	帽子を使ったヘアセットができるようになる。(小物への対応力)				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 ●小テストは①、②は2点、③~⑭は3点で配点				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
* 学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。									

## 講義シラバス

科目名	スチールヘアメイク	必修 選択の別		開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場やファッションショー、舞台、ドラマ、プライダルなどのモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々へのヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の四大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加するなど、海外まで活躍の幅を広げているアーティストが14名所属するヘア名事務所です。						

**【授業を通じての到達目標】**

様々なスチールヘアメイクをテーマやモデルに合わせて作る事が出来るようになる。

**【学習内容】**

撮影の基礎を学び、クリエイティブな作品を作り上げる。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

ヘアメイク道具一式、筆記用具

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
① 9/18・19	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション、シラバス説明	⑨ 11/20・21	【到達目標】小テスト2点 【コスメ広告】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②
② 9/25・26	【到達目標】小テスト2点 【花】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①	⑩ 11/27・28	【到達目標】小テスト2点 【和】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①
③ 10/2・3	【到達目標】小テスト2点 【花】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②	⑪ 12/4・5	【到達目標】小テスト3点 【和】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②
④ 10/9・10	【到達目標】小テスト2点 【ファッション広告】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①	⑫ 12/11・12	【到達目標】小テスト3点 【年代】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①
⑤ 10/16・17	【到達目標】小テスト2点 【ファッション広告】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②	⑬ 12/18・19	【到達目標】小テスト3点 【年代】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②
⑥ 10/23・24	【到達目標】小テスト2点 【スイーツ・フルーツ】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①	⑭ 1/15・16	【到達目標】小テスト3点 自由なテーマで相モデルでヘアメイク考案、練習①
⑦ 10/30・31	【到達目標】中間チェック10点 【スイーツ・フルーツ】をテーマに相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る② ※中間チェック	⑮ 1/22・23	【定期試験】60 自由なテーマで相モデルでヘアメイク実技、撮影し作品を完成させる事が出来る②
⑧ 11/6・7	【到達目標】小テスト2点 【コスメ広告】をテーマに相モデルでヘアメイク考案、練習①	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**